

マルチウィンドウ

VOL.35

狭山市長 町田 潤一



似顔絵・小田 悦登 氏作



21世紀のリサイクル都市実現の第一歩となる「リサイクル都市・狭山」を宣言してから11月2日で1周年になります。ごみは「出さない」「燃やさない」を合言葉に、ごみ減量化運動を推進しておりますが、さらに「資源の有効活用と再利用」をキャッチフレーズに循環型社会の構築に取り組んでまいります。これまで、市民皆さんを始め事業所の協力を得てリサイクルを推進してまいりましたが市

では市内にごみ減量資源リサイクル推進チームの設置や廃棄物減量等推進員制度を発定させ、活動の基礎造りと関連事

業への展開を積極的に図ってまいりました。9年度は、更なる分別を進めるため古紙、古布の回収やペットボトルの試行収集を開始し、それぞれ大きな成果をあげています。現在、燃やすごみの約半分が紙類であり、分別の徹底でリサイクル率はさらに4%上昇いたします。循環型社会の構築は、地球環境の将来を大きく左右いたします。まず第一歩は、一人ひとりの環境に対する認識を深め、行動が大きな輪となって達成されるものであり、市民皆さん、事業所、行政が取り組むべき共通の問題として今後もスクラムを組んでより強力に前進してまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

市長の主な動き

- 10/3...国土調査推進委員会 10/5...大相撲狭山場所 10/7...部落解放全国一斉ブロック別大行進(埼玉行進)各地区歓迎集会 10/8~/9...第59回全国都市問題会議 10/11...Salの街福祉バザール 10/11...第4回狭山地方大会狭山市・入間市暴力排除推進大会 10/13...決算特別委員会、第3回狭山市ダイオキシン類問題検討委員会 10/16...第35回埼玉県商工会議所議員大会 10/17...決算特別委員会、平成9年度狭山保健所管内保健事業連絡協議会 10/21...市政懇談会案件に関する現場視察 10/22...決算特別委員会、第3回市議会臨時会 10/24...法改正に伴うダイオキシン問題等学習会 10/25...第17回いじめ根絶対応委員会 10/26...狭山市消防団ポンプ操法大会、名誉市民故小林栄一氏合同葬儀 10/27...埼玉県市長会定期総会・市長研修会 10/31...決算特別委員会



狭山市駅西口駅前にも公衆用トイレを建設

駅周辺での利便性向上のため障害者用、洋式、和式設備の整った公衆用トイレを狭山市駅西口駅前に建設します。(建設部・道路維持課)

水野地区に雨水貯留池を建設

水野地区の溢水対策の一環として、若葉台児童交通公園の地下に雨水貯留池を建設します。(建設部・道路維持課)

緑地保存のため、斜面林の一部を取得

狭山市の緑地の特徴の一つとなっている入間川河岸段丘斜面林の一部(上広瀬地内)を取得しました。(建設部・みどりの課)

問い合わせは各担当課へ

INFORMATION NOW

インフォメーション・ナウ



狭山市名誉市民に故小林栄一氏

10月22日に開催された第3回狭山市議会臨時会で、16日に逝去された小林栄一氏(享年84歳)が名誉市民に推挙されました。小林氏は、茶業に従事するともに、46年の永きに渡り商工業の発展に寄与されました。特に、商工会議所の創設にご尽力されるとともに、各分野の要職を歴任し、広く社会文化の興隆に尽くすなど、地域振興ならびに地方自治の進展に多くの功績を残されました。

Table with columns: 公選歴, 任期, 職歴. Lists various positions held by Shigeo Kobayashi from 1955 to 1999.

廃棄物減量等推進員特集

市では、ごみの減量、資源リサイクルの推進を図るために、昨年9月から狭山市廃棄物減量等推進員制度をスタートしました。今回は推進員さんの仕事を紹介します。

廃棄物減量等推進員はこんな仕事をしています

市内各地域から自治会長のご推薦を受けて市長が委嘱します。現在、推進員さんは、ごみの分別や減量、リサイクル化についての啓発に活躍しています。

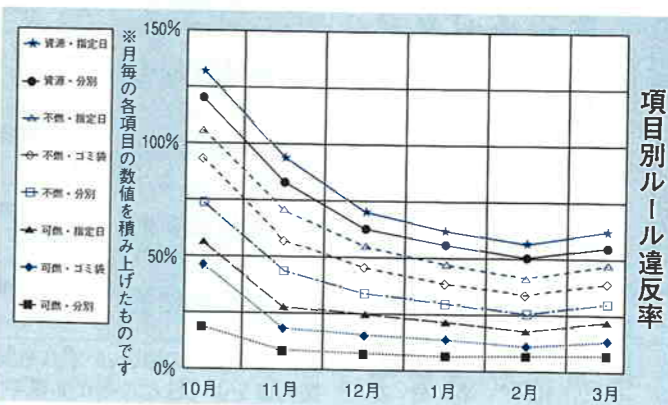
そのほか、清掃現場の見学や研修会に参加して、ごみ減量資源リサイクル推進のリーダーとしての役割を担っています。

ごみ集積所調査結果

主な仕事のひとつがごみ集積所の調査です。「もやすごみ」「もやさないごみ」「びん・缶や古紙・古布などの資源物」それぞれごみの出し方を現場でチェック、結果を半年ごとに市へ報告しています。

昨年10月から今年3月までの調査結果をお知らせします。グラフは、調査した集積所のごみの出し方の状況を「もやすごみ」「もやさないごみ」「資源物」それぞれについて、分別がきちんとされているか、半透明・透明ごみ袋で出されているか、指定日が

守られているかをチェック、守られていない割合を表したものです。(10月から3月までの積み上げ) 調査が開始された10月は、半透明・透明ごみ袋導入時期だったため、ごみ袋にもルール違反が目立ちますが、皆さんのご協力により、10月はやすごみ、もやさないごみ、それぞれ28%、20%だった違反割合が、3月は6%、9%まで減少しています。しかし、どの項目も平均7~8%は出し方が守られていません。ごみの分け方、出し方を守って出して



いただきますようお願いいたします。

防災 Q&A. Q. 阪神・淡路大震災からの教訓として、どのようなことを心がけたらいいのでしょうか。(その1) A. 枕元にラジオ付き懐中電灯と軍手を用意しておきましょう。家具の下敷きや逃げ道をふさぐ恐れがあるので、寝室にはタンス類を置かないでください。避難するときに手足をけがするおそれがありますので、寝室にガラス付き家具や人形ケースを置かないようにしましょう。眼鏡をかけているかたは、枕元に眼鏡を置いておくようにしましょう。

自治会ニュース. 私どもの自治会は、稲荷山公園と入間川に囲まれた大変環境に恵まれた地域に位置しております。発足して7年目の新しい自治会です。自治会活動は、それぞれの分野ごとに発想を自由に出し合って、それをもとに実施しております。若い世帯が多いので地域の夏祭やソフトボール大会、体育祭など家中で積極的に参加しております。このような活動を続けていくためには、会員相互の協力体制が最も大切なことと思っております。問題の多い昨今の世相を踏まえ、住みよい地域社会を作る責任の一端を担って行かなければならないと強く感じます。 編ノ木第七自治会

ごみの減量・資源リサイクルで進めます。推進員さんから提出いただいた報告書は、市の清掃行政を進めていくための貴重な資料です。また各地域ごと推進員さんとの連携のもと、地域の実情に合った施策を考え実行していきます。ごみ減量資源リサイクル推進の鍵は市民の皆さんが握っています。今後も更にご協力をお願いします。